

## 【名人戦小学生の部ルール】

- 小学生の部は、予選5回戦。予選終了時の上位4名は決勝トーナメントへ進出します。
  - 組み合わせ1回戦はコンピューターで組合せを決定します。2回戦以降は勝敗の近い者同士と対戦します。組み合わせは係員が教えます。
  - 試合を始める前に、ジャンケンをしてください。勝った方が黒(先攻)、白(後攻)又は引分勝ちを選択できます。ジャンケンに勝った方が引分勝ちを選択した場合、ジャンケンに負けた方が黒か白を選択できます。尚、ジャンケンに勝った方が黒か白を選択した場合は、ジャンケンに負けた方に引分勝ちの権利が付きます。
  - 取れる石がなくなるまでパスはできません。とり忘れていたりしても(特に斜めの列に注意)、そのまま続けます。周りで見ている人は絶対に教えないでください。
  - 石は片手でゆっくり裏返してください。
  - とった石の数で勝ち負けを決めます。石の数が同じ時(32-32)の時は引分勝ちの権利を持っている方の勝ちになります。全てのマスに打つ前に同色により埋め尽くされた(パーフェクトゲーム)時は64対0になります。お互いに打つ場所が無く対局が終了した場合、空いたマスの数は勝ちの人の石数に足して数えます。
  - 一度置いた場所・ひっくり返したところを戻す行為は禁止します。
  - 予選の順位は次の①～④で決定します。
    - ①勝数の多いもの
    - ②石の数の多いもの
    - ③それでも同じ場合は直接対決で勝ったほうが上位とします。
    - ④直接対決がない場合は、1つ前の試合終了時点での順位が上のものを上位とします。
  - 試合が終わったら、対戦相手と2人で石の数を数え、対戦表に記入してください。対局した盤面はそのままにして、2人で審判席に対戦カードを提出して下さい。提出終了後、審判の確認が終わったら席に戻り、対局した盤面を片付けて次の対戦をお待ち下さい。
  - 試合の持ち時間は一人10分とします。持ち時間がなくなると負けになります。相手の持ち時間がなくなった場合、持ち時間のある選手の勝手打ち<sup>注1</sup>となります。

対局時計を使用しますので忘れずに操作してください。時計の使い方は、審判が教えます。
  - 準決勝の組み合わせは、予選1位と4位、予選2位と予選3位が対戦します。
- 準決勝と決勝の持ち時間は一人15分とします。手番の決め方は予選と同じ。
- 試合中又は会場内で、不測の事態が起こった場合の全ての裁定は、審判長が行う事とします。

注1:勝手打ちとは、自分の持ち時間を使って、好きなように相手・自分交互の手を打ち進めることができます。ただし、その過程で不正着手があった場合は、敗者が指摘することができる。また、勝者は、まだ打てる箇所があっても好きな所で打ち止め、その時点で盤上にある石数を試合結果とすることができる。勝手打ちの途中で持ち時間が切れた場合、または最後まで打ってその時点での勝者の石数が32以下であった場合、石数を33-31とする。

### 【その他】

- ★試合の始めと終わりには、お互いにあいさつをしましょう。
- ★途中、どうしてよいかわからなくなったときは、係員を呼んでください。
- ★仲良く、楽しく最後まで頑張りましょう。
- ★見ている人は、対局者に話しかけないようにしましょう。
- ★飲み物は認めています。蓋つきの物をご用意ください。(水筒・ペットボトル等)オセロ盤にこぼさ

ないように気を付けて飲んでください。

★大会で撮影した写真・ビデオは参加者に断りなくホームページや広報誌等に使用する場合があります。あらかじめご了解ください。

★万一、地震などによって避難が必要になった場合は、係員の指示により避難行動をお願いします。それまでは、テーブルの下などに隠れて下さい。